

川崎異業種研究会(以下略称川異研)は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年7月に設立され、今年で24年目を迎えます。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

新年会長挨拶 会長 紀中 靖雄



謹んで新春のお祝いを申し上げます。旧年中は大変お世話になり、心より御礼申し上げます。本年、川崎異業種研究会は、創立25周年を迎えることとなりました。任意団体として四半世紀も活発に活動を続けられたのは、ひとえに事務局を担当して頂いている川崎商工会議所の皆さんのお陰であると実感しています。会員を代表して心より御礼を申し上げます。本年の先行きは依然不透明ではありますが、創立25周年に相応しい、当会にとってエポックメイキングな年となるように会員一同で切磋琢磨し走り続けましょう。最後になりますが、皆様のご健康とご多幸を祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。

11月定例会報告

平成22年11月11日(木) ミューザ川崎 会議室にて午後6時より、参加者16名を得て開催。初めに、菅原副会長から、フィリピン開催となった10月度国外視察会報告を現地写真のライドショー解説をする形式で行った。続いて、「3分間スピーチ」と題し、各メンバーの近況報告を行った。

「ものづくりの中国へのシフトは急速に進んでおり、日本の製造業の将来は大丈夫だろうかと心配である」「前期に比べ減収となったが、経営革新を図ったため増益に転じることができた」「社内人事が大幅に行われ世代交代が進み活気が出ている」「コミュニケーションツールとして、社内・得意先・家族向けのフリーペーパーを発行予定である」、「環境、省エネルギー等、CSR(企業責任)に取り組む重要性を実感している」等、示唆に富む貴重な発言を頂いた。

その後、懇親会場に席を移し、盛会のうちに終了した。



11月分科会報告

平成22年11月4日(木) 高津市民館会議室にて午後6時30分より、参加者11名を得て開催。「こんな時だから前向きに活用



したい、産業振興系の助成金・補助金の最新事情」と題して、中小企業診断士・有村コンサルティングオフィス 代表の有村知里氏を迎え、産業振興系助成金に関するご説明とその有効利用方法についてご講

演いただいた。

具体的な助成金をその活用のポイントや事例を踏まえての紹介があり、また応募、申請に際しての留意点として①事業プランとその目的をよく吟味すること②個々の採用率は総じて高くないことや募集期間も短いものが多い為、類似の助成金をよく探すこと③申請書は事業計画書であり、いかに読んでもらうかを留意して作成すること等のアドバイスをいただいた。オブザーバーとして参加いただいた、起業を目指すという産学連携先の和光大学学生からも質問が出るなど活発な会であった。

その後、場所を変えて有村氏にも参加いただき、和やかな雰囲気のまま懇親会を開催した。

加入のお問い合わせは

事務局: 多摩麻生支所 TEL 044-932-1100